

この冊子は 2022 年度日本郵便年賀寄付金の助成を受けて作製しました。



2022 年(令和 4 年)

日本郵便 年賀寄付金

年次報告

子どもの状況

2021 年 チャイルドラインとちぎのデータから



(認定)NPO法人チャイルドラインとちぎ

はじめに

新型コロナ感染症とともに生活する日々に子どもたちも慣れてきたように思います。

一斉休校要請発出時の、突然学校に行けなくなり、仲間から切り離されてしまった子どもたちの動揺はとても大きなものでした。今は、その状態とは違います。しかし、マスクをつけ、密を避ける生活様式は続いていて、思う存分に声を出し、友だちと実際に触れ合うような、子どもにとってとても大切な機会は相変わらず規制されています。

折しも文部科学省が推進する GIGA スクール構想とも重なり、オンラインを活用した授業、学習への必要性が高まったとして端末の導入は急ピッチで進みました。

もちろん使い方によっては非常に有効で大きな可能性を秘めたオンライン学習ですが、現場の学校すべてがソフトや指導体制を前倒しで準備することは難しかったと思います。

ネットリテラシーの問題とも深くかかわりますが、端末を使ったいじめの問題もありました。何より、子どもたちの健康への影響、また、リアルな本や、実際に書くことの大切さも改めて見直されています。一生を左右する子ども時代の過ごし方です、慎重に考えなければならぬと思います。

そして、社会を見渡すと、ロシアのウクライナ侵攻という驚くべき事態が起きました。連日の戦火の報道に子どもたちも心を痛めております。大人も子どもも不安な状況で、貧困家庭のさらなる困窮、大人の就労の変化、そこから生まれる子どもへのネグレクトを含む虐待の問題、子どもたちのストレスはいや増すばかりのようです。

こんな時だからこそ、より一層子どもたちに寄り添うべく、私たちもできる限りの感染予防に努め、何とか活動を維持してまいりました。

そして、今年も届けられた子どもの声を年次報告としてまとめました。貴重なデータを社会発信し、国連総会で採択された持続可能な開発目標（SDGs）と子どもの権利条約に謳われる子どもにやさしい社会を作るという私たちの目標に近づくべく努力していく所存です。この社会発信と、子どもの心に寄り添う活動は、同時に進められるべき車の両輪のようなもの。お届けするこの年次報告をご一読いただければ幸いです。

チャイルドラインを支えてくださる皆様に心より感謝を申し上げますとともに、今後とも子どもたちのためにご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

認定 NPO 法人 チャイルドラインとちぎ
理事長 松江 比佐子

I

チャイルドラインとちぎが受けた電話

2021年1月～12月

本報告書は、全国統一フリーダイヤルで他県の実施団体と連携して電話を受けているため、「Ⅰ. チャイルドラインとちぎが受けた電話」と「Ⅱ. チャイルドラインとちぎがオンラインで受けた子どもの声」「Ⅲ. 栃木県の子どもがフリーダイヤルにかけた電話」「Ⅳ.子どもの声から」に分けて作成しました。

栃木県内からの電話は優先的に「チャイルドラインとちぎ」に着信しますが、話し中の場合は、全国どこかのチャイルドラインにつながるようになっています。

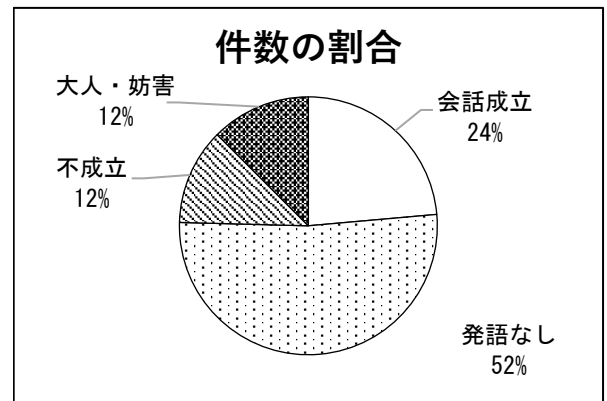
電話開設状況

- 実施日 2021年1月～12月
 毎週月曜日・金曜日・第2日曜日・第3土曜日
 16:00～21:00を3シフト制で実施
- 人数 受け手 62人 年間延べ 852人
 支え手 16人
- 開設 年間日数 127日
 開設時間 635時間 (2回線)
 年間件数 6,535件(通話1,762件) ※大人・妨害電話を除く
 1時間平均約10件(通話3件)
 1件あたりの平均通話時間20分

1. 通話の概要

総着信件数 7,469件(大人・妨害を含む)

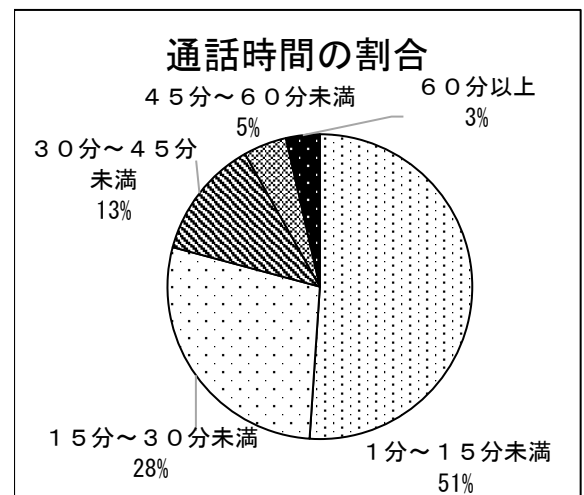
	件数	通話(分)	平均通話	件数の割合
会話成立	1,762	34,558	19.6分	24%
発語なし	3,871	2,313	0.6分	52%
不成立	902	1,927	2.1分	12%
大人・妨害	934	3,315	3.5分	12%
全体	7,469	42,113	6.4分	100%



2. 通話時間(会話成立)

会話成立のうち通話時間では1分～15分未満は51%で一番多くなっています。

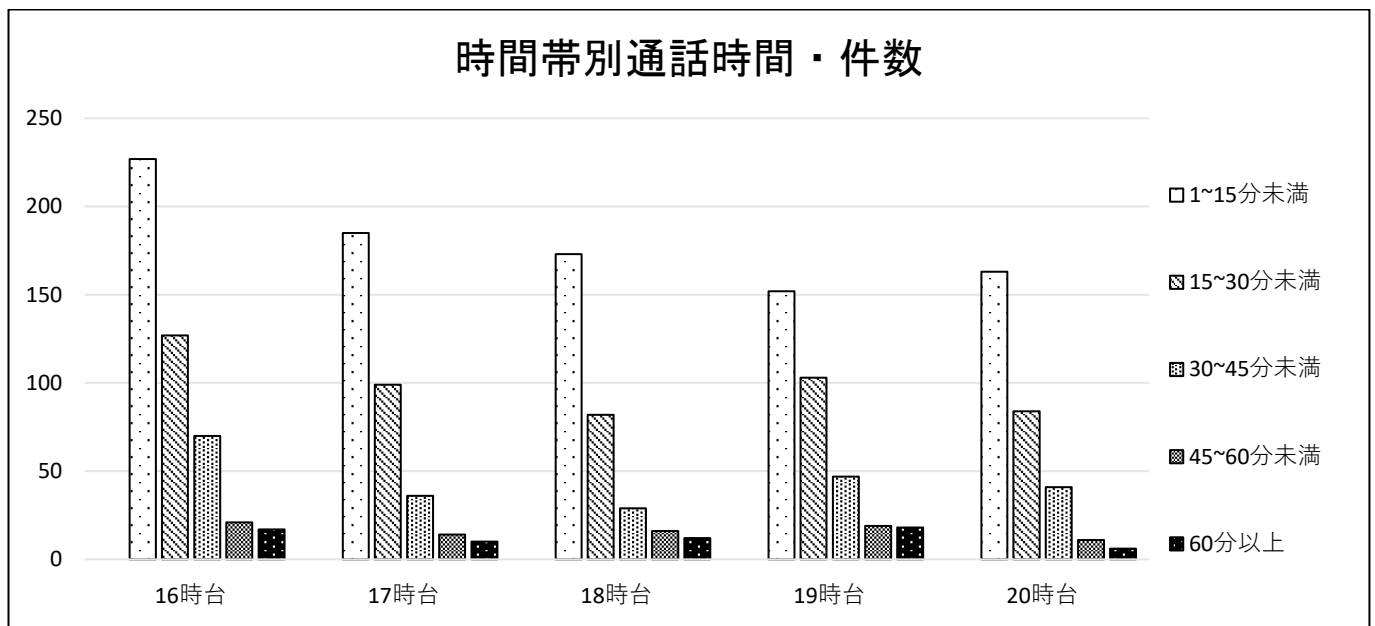
通話時間	件数
1分～15分未満	900
15分～30分未満	495
30分～45分未満	223
45分～60分未満	81
60分以上	63
合計	1,762



3. どの時間帯にかけられているか

時間帯によって大きな差はありませんが、その中でも 16 時台の電話件数が最も多く、平均通話時間は 19 時台が長くなっています。

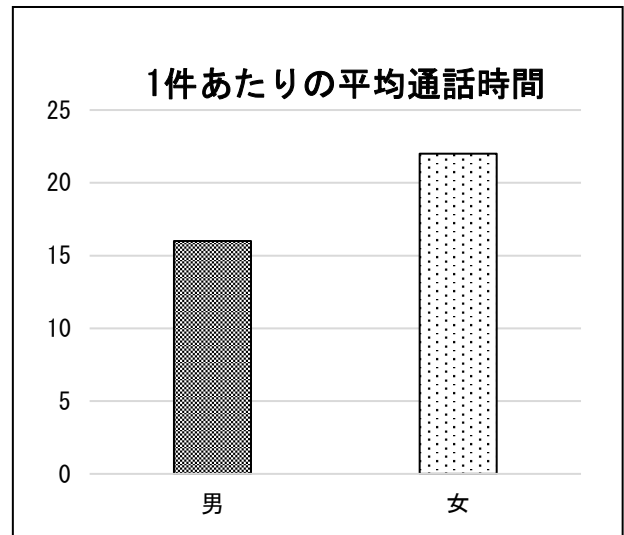
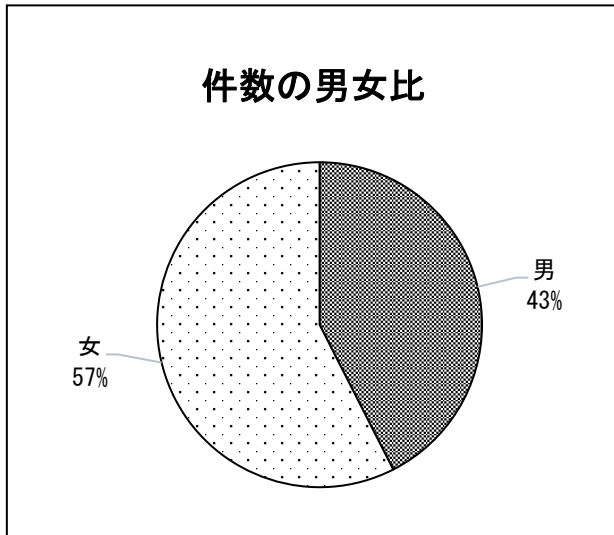
時間帯	通話件数	時間(分)	通話平均(分)
16時台	462	9,326	20
17時台	344	6,298	18
18時台	312	5,785	19
19時台	339	7,363	22
20時台	305	5,786	19
合計	1,762	34,558	20



4. 性別、学齢

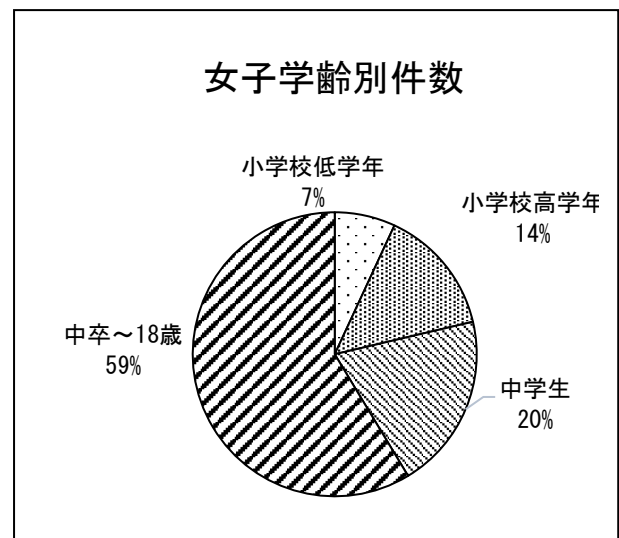
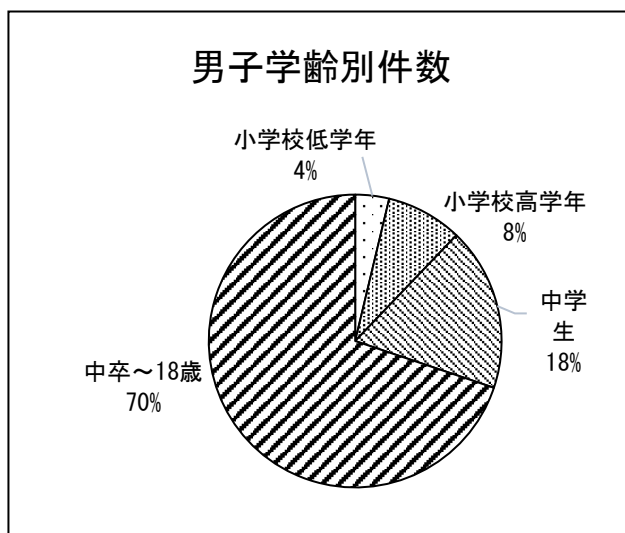
(1) 通話時間・件数の男女比

かけ手の性別をみると男子が 43%、女子が 57%で女子の割合が多く、1 件あたりの通話時間の平均についても女子のほうが長く話されています。



(2) 学齢別件数の男女比

かけてきた子どもの学齢では、中学卒業から 18 歳までの割合が高く、特に男子は高校生の学齢が 70%を占めています。女子は小学生と中学生がほぼ同じ割合で電話をかけてきています。



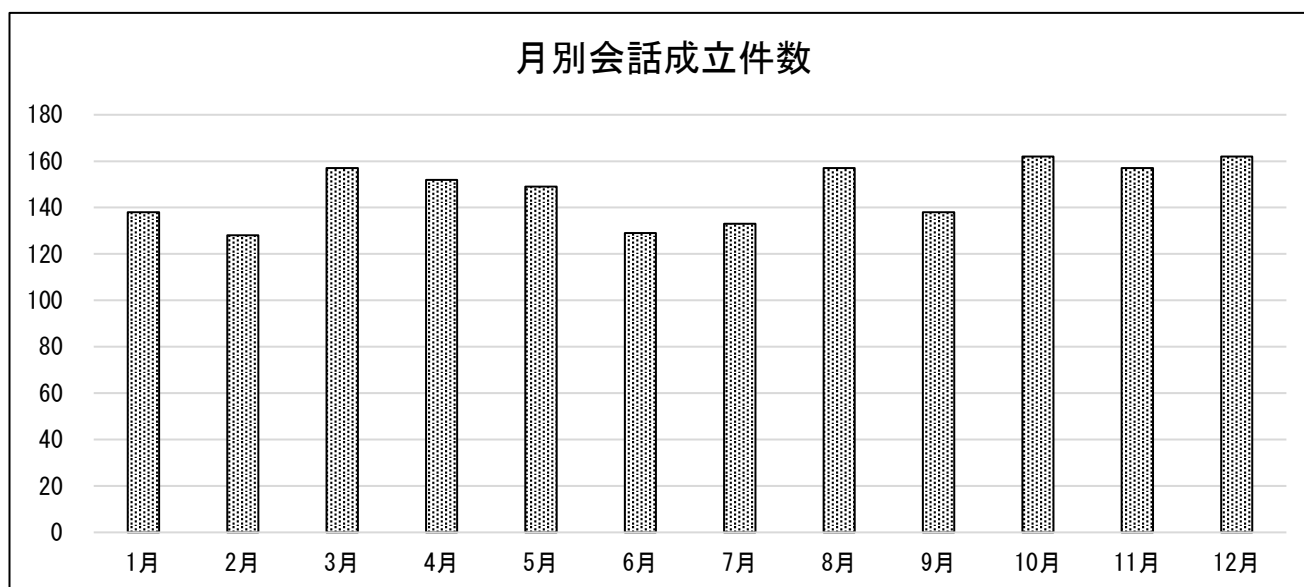
5. 月別件数と通話時間の推移

無言や一言などの会話不成立などを除き、月平均の会話成立件数は147件です。年間635時間開設しており、1時間あたりの平均通話件数は約4件です。

1件あたりの平均通話時間は約20分です。開設時間1時間あたりの平均通話時間は2台の電話で受けているため66分になります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
会話成立	138	128	157	152	149	129	133	157	138	162	157	162	1,762
不成立	275	240	363	323	298	327	387	402	353	338	342	223	3,871
無言	83	73	76	57	105	62	87	75	70	78	80	56	902
大人(妨害)	88	99	85	92	92	87	83	75	54	69	59	51	934
総着信	584	540	681	624	644	605	690	709	615	647	638	492	7,469

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
通話時間	50	43	55	47	52	49	44	49	46	47	49	45	576
開設時間	50	50	55	50	55	55	55	55	50	55	55	50	635



1月2月に比べ3月から5月にかけて通話件数が増えています。進学や進級など環境が変わることが影響していると思われます。8月は夏休みのため前後の月よりも件数が多くなっています。

6. どんな内容の電話か

男女別主訴別通話件数

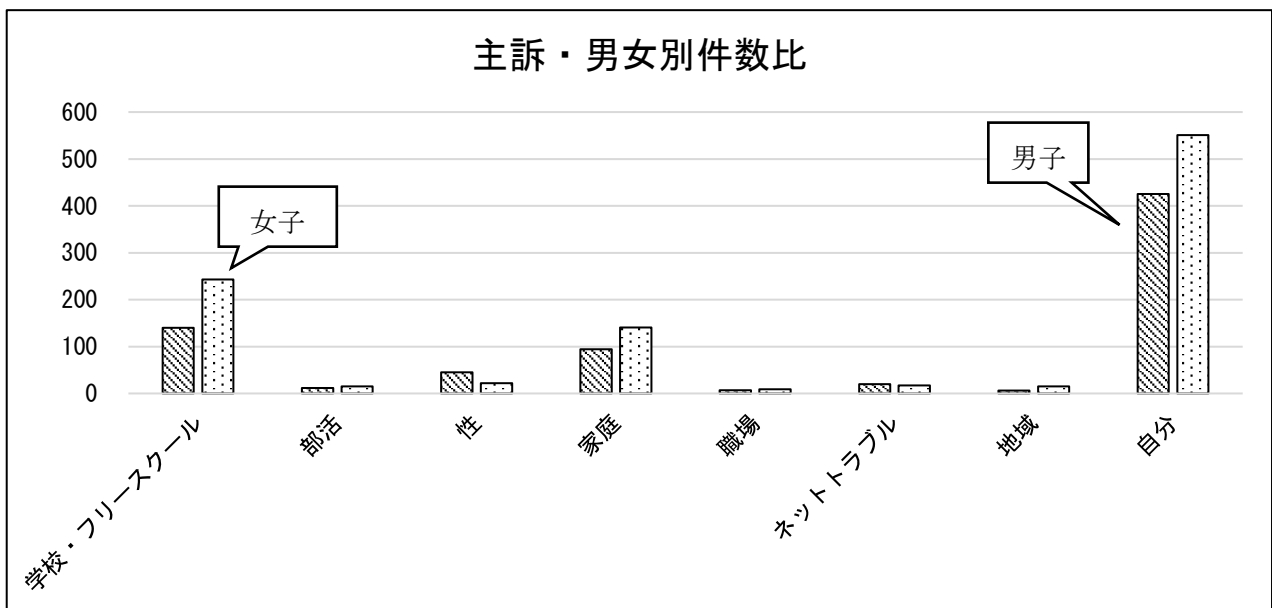
	学 校 フリースク ール	部 活	性	家 庭	職 場	ネット トラブル	地 域	自 分	合 計
男	140	12	45	94	7	20	6	425	749
女	243	15	22	141	9	17	15	551	1,013
合計	383	27	67	235	16	37	21	976	1,762

男女別主訴別時間(分)

	学 校 フリースク ール	部 活	性	家 庭	職 場	ネット トラブル	地 域	自 分	合 計
男	2,205	162	893	1,641	63	286	58	6,573	11,881
女	4,486	317	525	3,850	303	337	270	12,589	22,677
合計	6,691	479	1,418	5,491	366	623	328	19,162	34,558

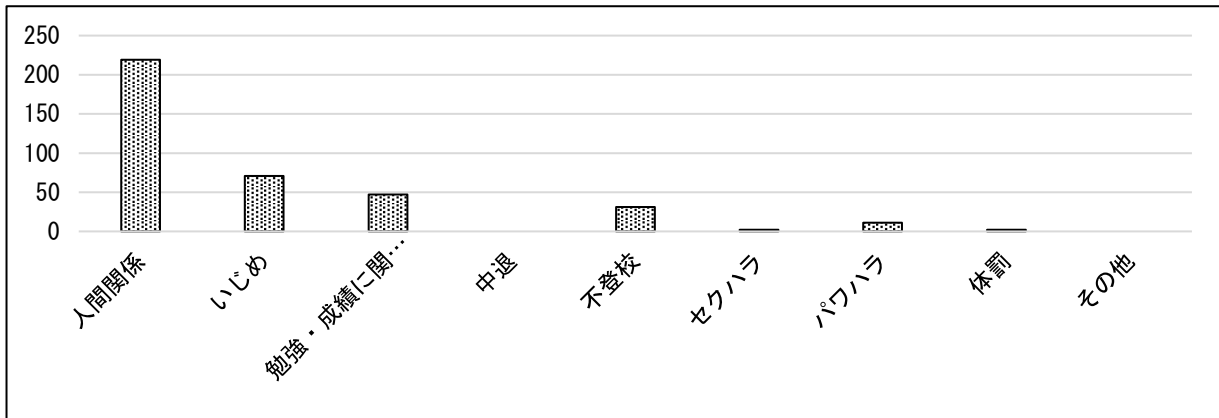
(1) 主訴別・男女別件数と通話時間

男女ともに「自分」に関する内面の悩みが多く、発達や精神障害を抱えての生きづらさを訴える声の特徴的です。「学校」「家庭」「部活」等の悩みに共通するのは、友だちや家庭の中での自分の存在に自信がない、誰かに認めて欲しいという声です。LGBT などの自分の性に違和感をもつ子どもたちの声も年々多くなっているように思います。「虐待」については、丁寧に話を聴く中でやっと話せるようになる場合が多く支援に繋げることの難しさを感じます。

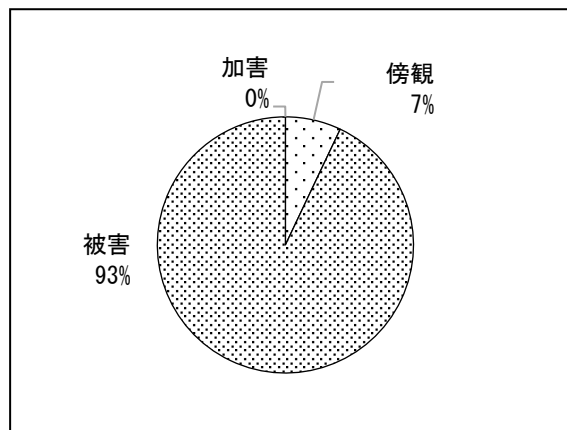


(2) 主訴別・詳細

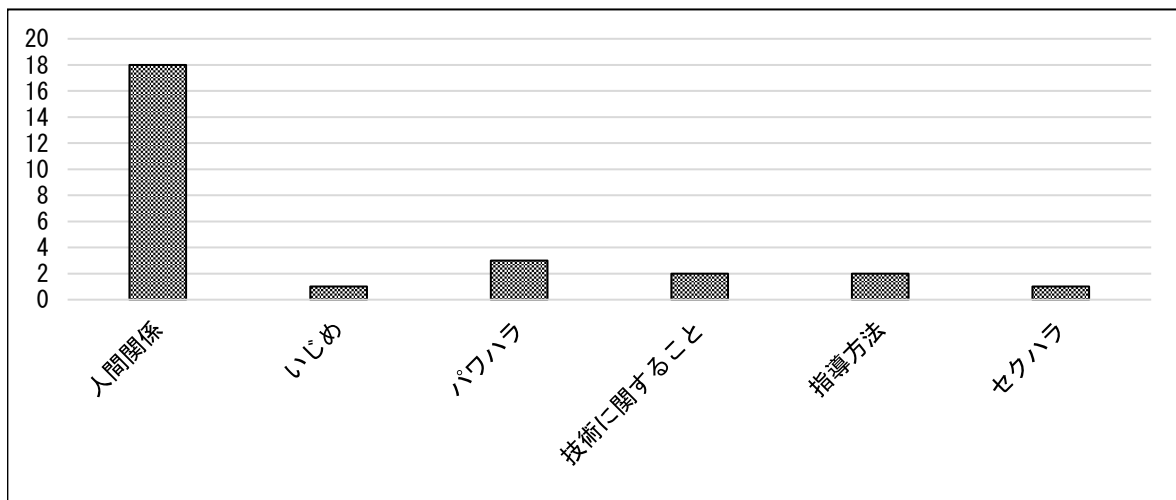
① 学校・フリースクールでのこと



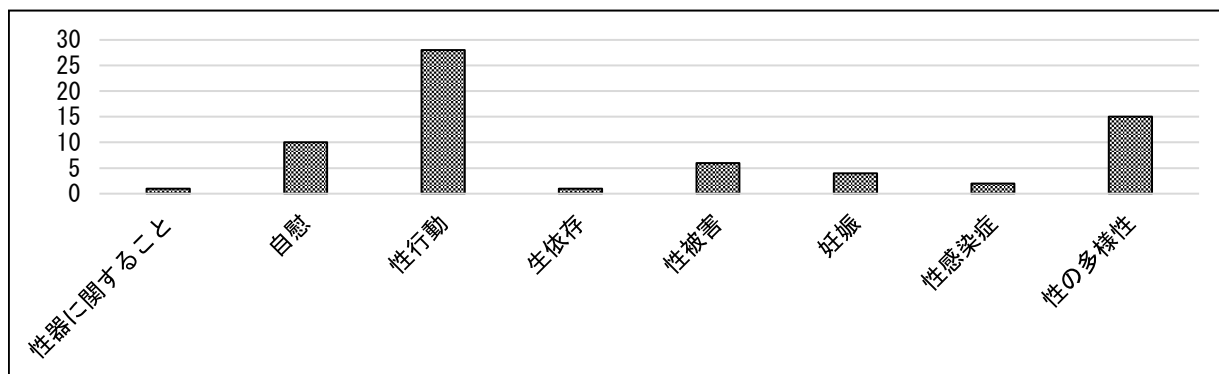
※学校・フリースクールでのいじめに関して



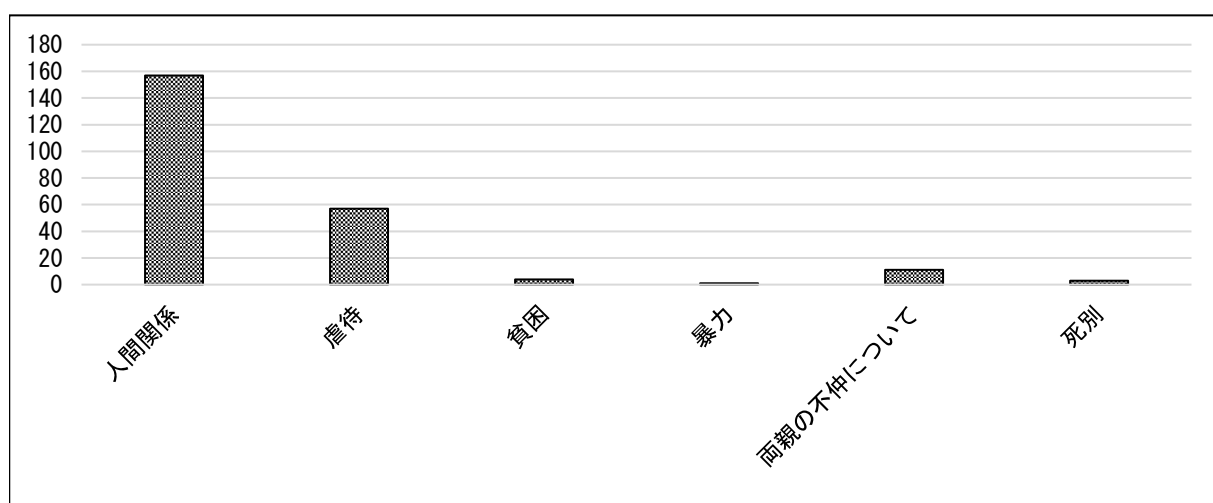
② 部活でのこと



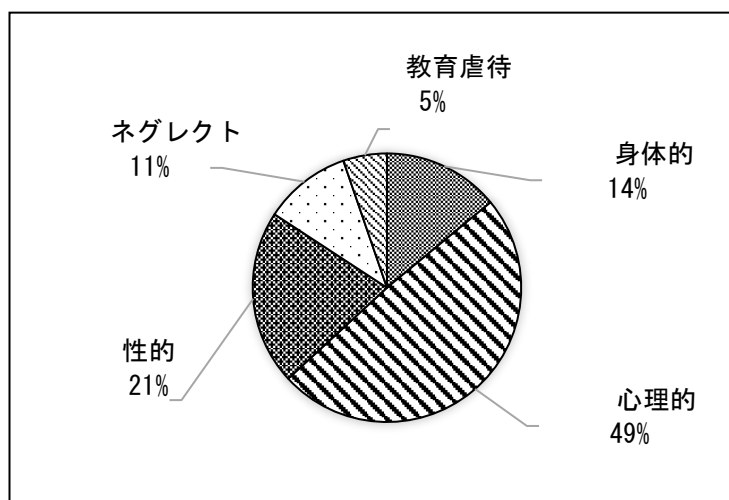
③性に関すること



④家庭でのこと



※家庭での虐待に関して

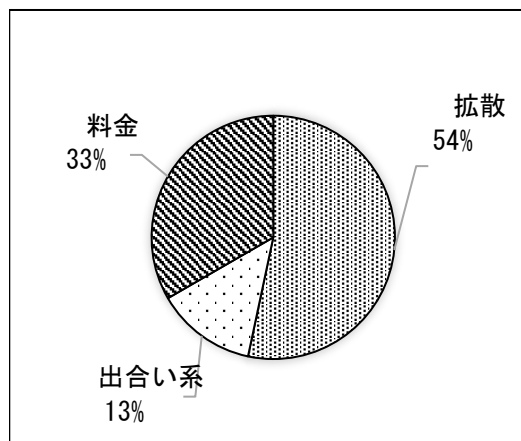
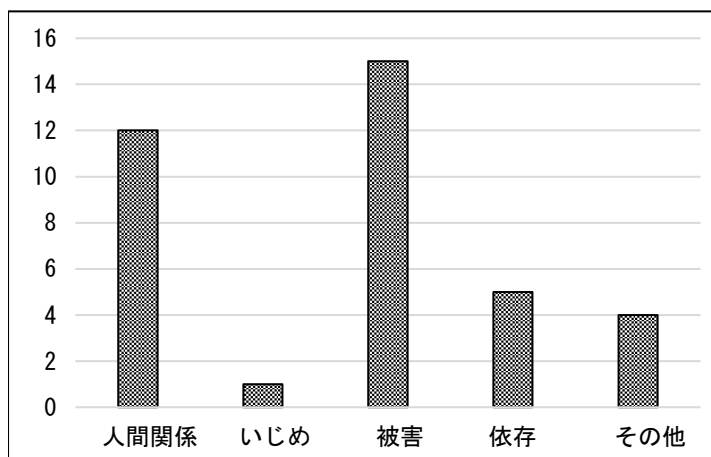


※虐待の関係性(誰とのことか)

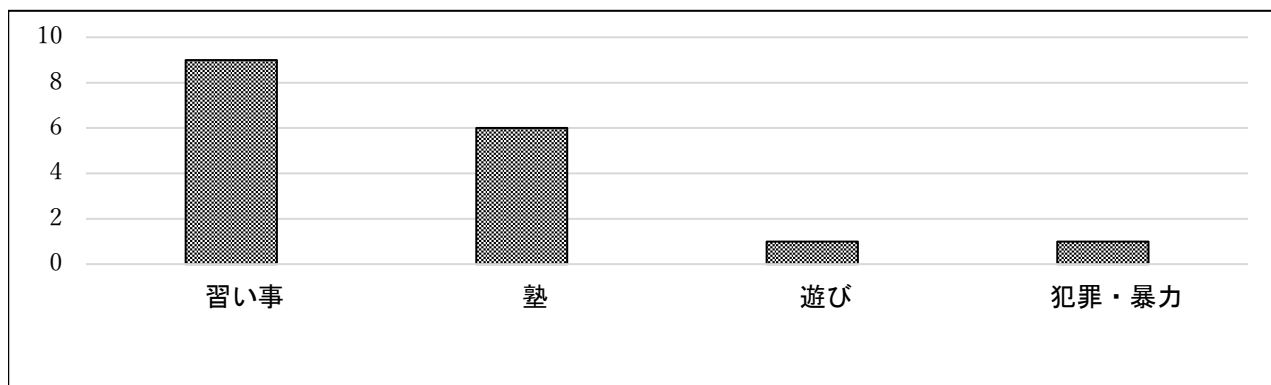
関係性	件数
実父	18
実母	25
養父	2
養母	3
きょうだい	1
祖父	2
祖母	1
自分自身のこと	5
合計	57

⑤ ネットトラブルに関すること

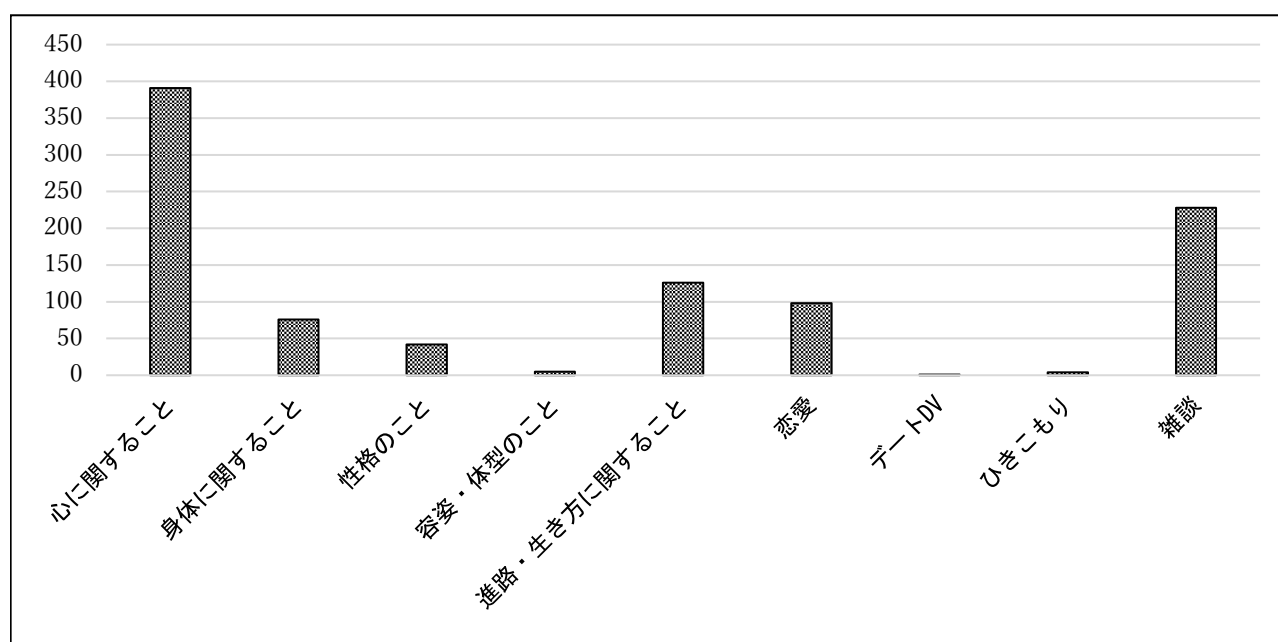
※ ネットトラブル被害 (内訳)



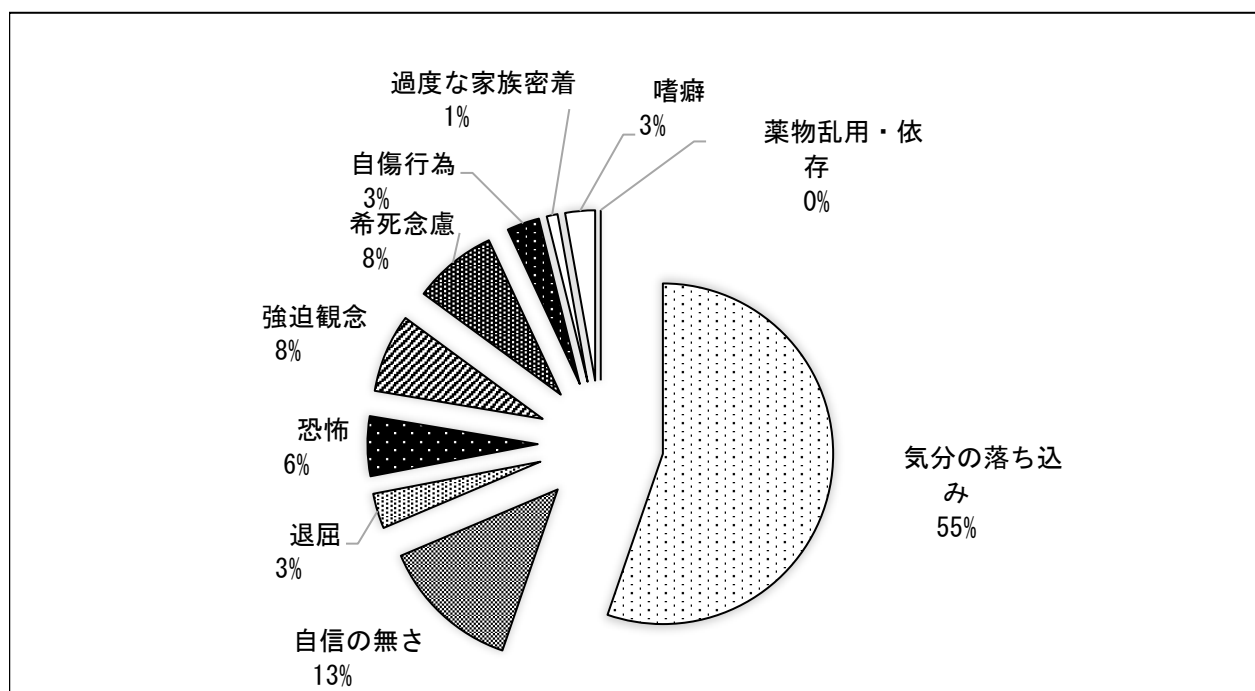
⑥ 地域でのこと



⑦ 自分のこと



※自分のことで心に関すること



7. 動機・関係性・気持ち

①電話をかけた動機

(1) 電話をかけた動機

どの年齢でも「聴いてほしい」が多くを占めます。自分のことを否定せずに認めて欲しいという「承認欲求」が動機であることが多いと感じます。「答えがほしい」という電話でも、子ども自身の解決力を信じ寄り添います。「誰かとつながってほしい」では、子どもたちの寂しさが感じ取れます。また、チャイルドラインに意見やお礼を伝えてくれる電話もあります。

	話を聴いてほしい	答えが欲しい	繋がってほしい	お試し	社会資源情報	実際に動いて欲しい	チャイルドラインについて	合計
未就学	0	0	0	0	0	0	0	0
小学低	72	19	3	4	0	0	0	98
小学高	163	39	6	1	0	0	0	209
中学生	271	44	17	3	0	1	2	338
～18歳	958	84	67	4	1	0	3	1,117
合計	1,464	186	93	12	1	1	5	1,762

(2) 誰との関係なのか

「自分自身」のことについて内面的な悩みが多くを占めています。次いで「友人関係」の悩み。「実母」との関係についての悩みも多くなっています。虐待に関しても実母が一番多く(25件)なっています。(実父からの虐待は18件)

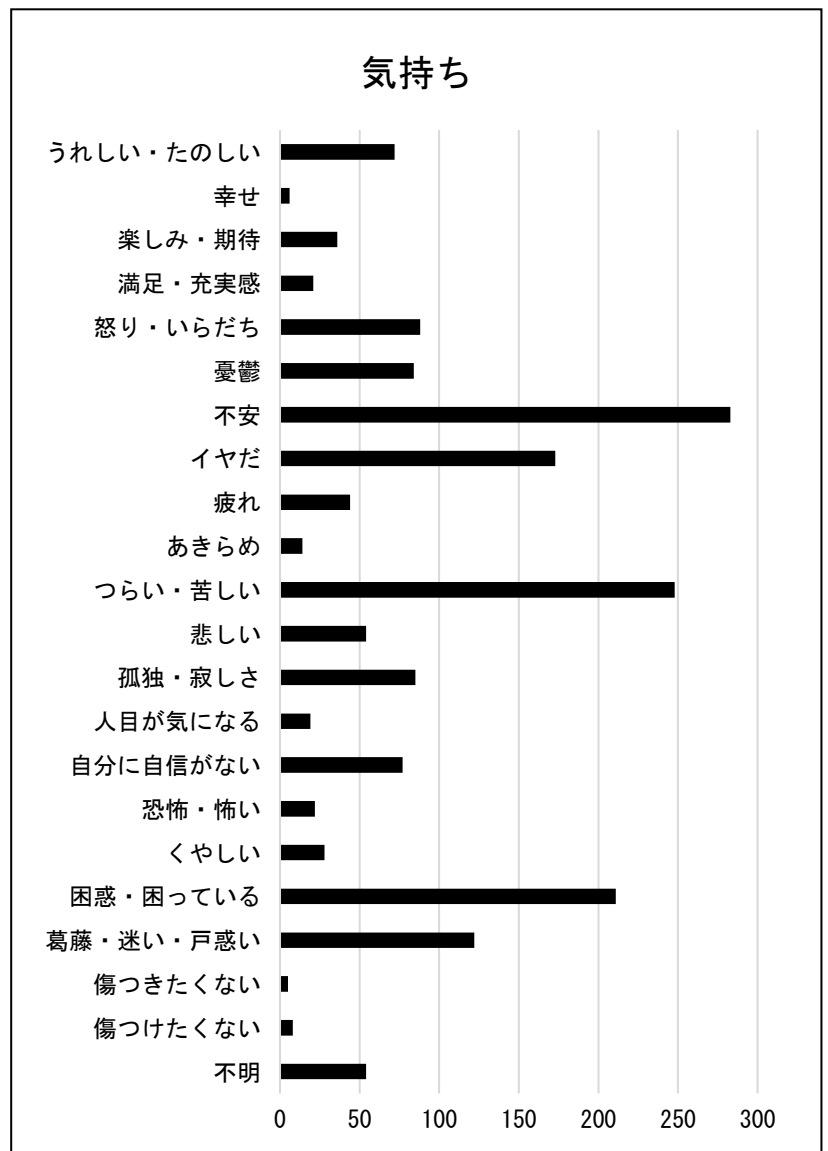
(3) どんな気持ちでかけたのか

「不安」や「つらい・苦しい」という気持ちを話す子どもが多いと感じます。「困惑・困っている」ことを率直に話す子どももいます。そして子どもたちは話をしながら「孤独」や「怒りや苛立ち」「葛藤・迷い・戸惑い」など様々な気持ちを表します。慎重に寄り添いながら子どもの気持ちを聴いています。

②誰との関係なのか

関係性	件数
友人・知人	257
恋人	15
先輩・後輩	10
同僚	3
実父	49
実母	107
養父	5
養母	5
きょうだい	36
義理のきょうだい	1
祖父	2
祖母	10
先生	47
顧問・指導者	15
近所の人	3
知らない人	6
自分自身のこと	1176
その他	15
合計	1762

③どんな気持ちでかけたのか



II

オンラインで子どもの声を聴く

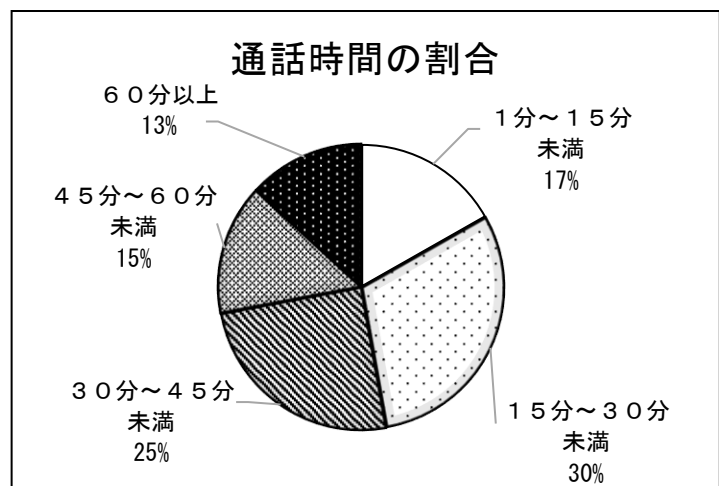
※ チャイルドラインとちぎが受けたデータから

- ・ 実施日 2021年 1月～12月 月2回 第1・第3木曜日
16:00～21:00 を2シフト制で実施
※全国キャンペーンへの参加 11/2・11/11
- ・ 人数 受け手 20人 支え手9人
- ・ 開設 開設日数 26日 開設時間 130時間
件数 415件 (会話成立411件)
通信時間 247時間(2台～3台のPC) (会話成立246時間) 1件平均36分

1. 通話(通信)時間

30分以上の通信が多く、1時間を超える場合もあり電話との違いが明確です。

通信時間	件数
1分～15分未満	69
15分～30分未満	125
30分～45分未満	102
45分～60分未満	61
60分以上	54
合計	411

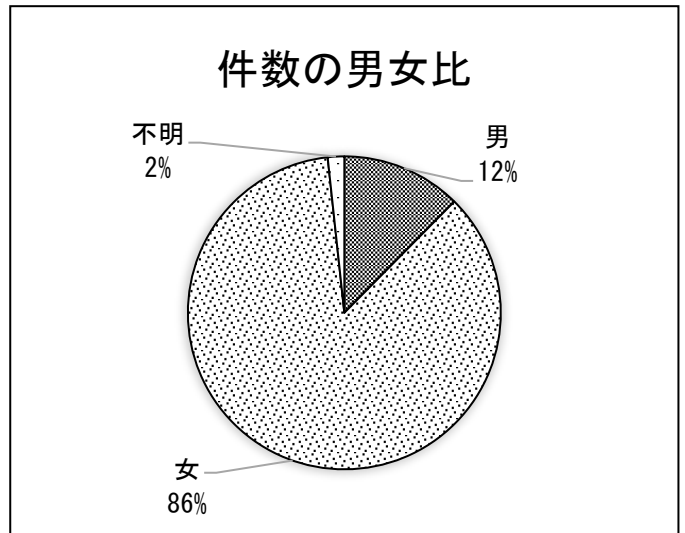


2. 性別、学齢

(1) 通信時間・件数の男女比

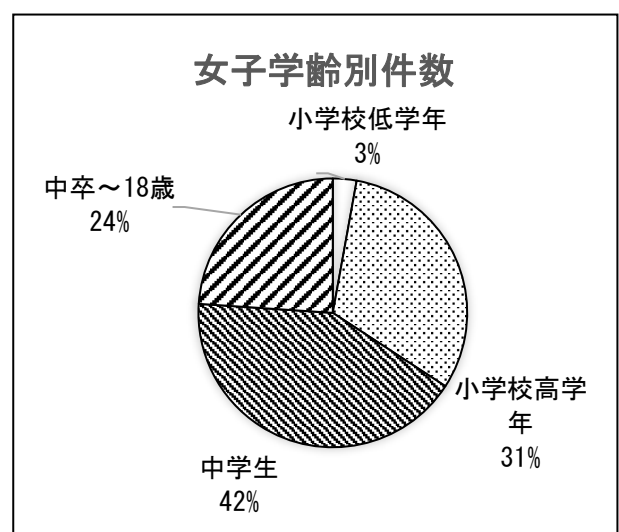
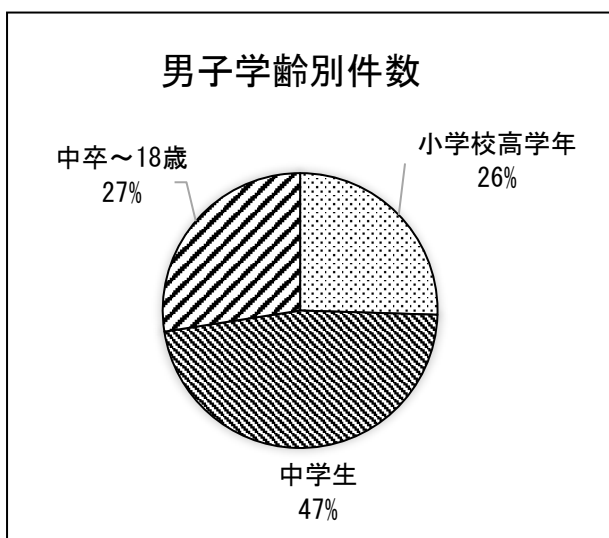
性別をみると 86%と圧倒的に女子が多いですが、平均通信時間にはそれほど大きな差はないようです。

性別	件数	通信時間	平均通信時間
男	51	1,762	34
女	353	12,860	36
不明	7	176	25
合計	411	14,797	31



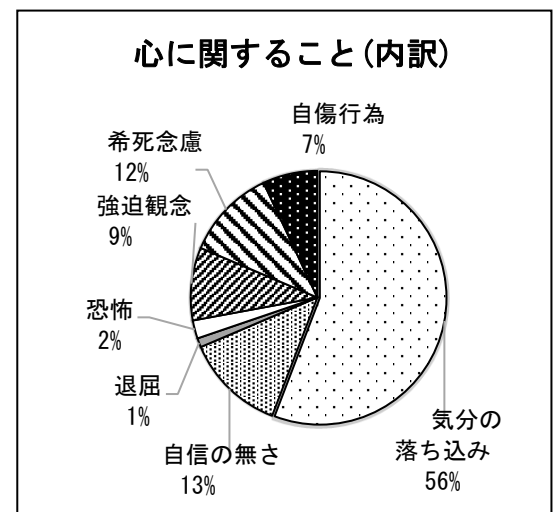
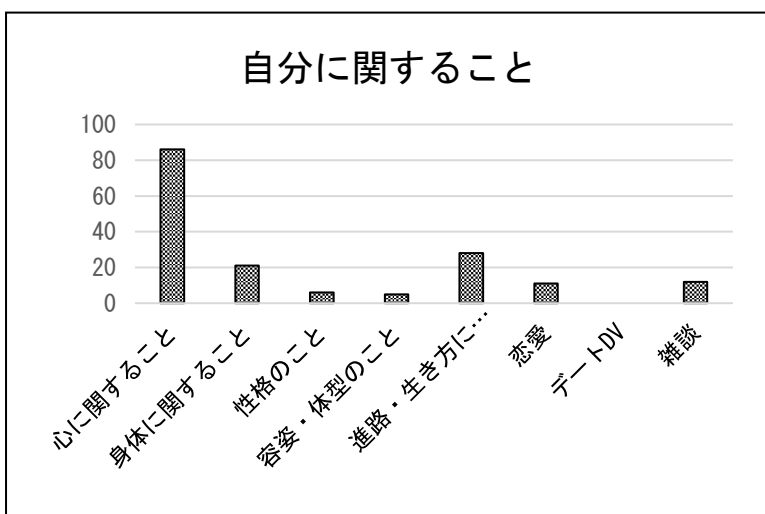
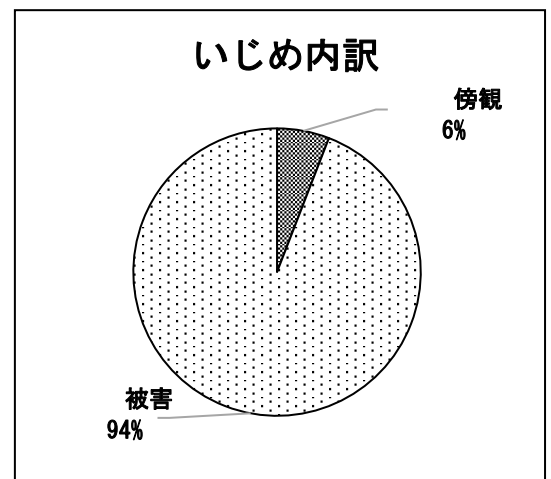
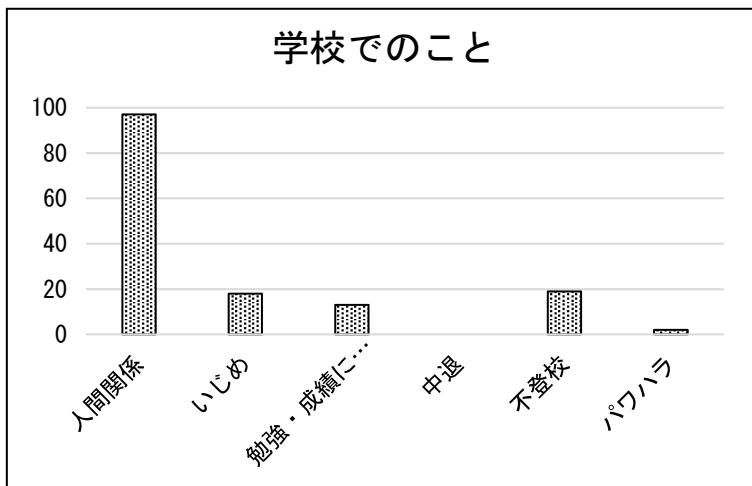
(2) 学齢別件数の男女比

かけてきた子どもの学齢では、オンラインでは中学生の割合が多くなっています。男子は次いで、高校生・小学校高学年が同じくらいの割合になっています。女子は小学校高学年の割合も多く、パソコンを使つての発信が多いことから、学校で配布されたタブレットの影響もあるのかと感じます。



件数	学校・フリースクール	部活	性	家庭	職場	ネットトラブル	地域	自分	合計
男	21	3	1	6	0	2	1	17	51
女	127	9	15	39	0	7	4	152	353
不明	2		1	1	0			3	7
合計	150	12	17	46	0	9	5	172	411

時間(分)	学校・フリースクール	部活	性	家庭	職場	ネットトラブル	地域	自分	合計
男	731	123	27	179	0	37	31	635	1,763
女	4,577	322	510	1,394	0	281	185	5,593	12,862
不明	80	0	28	22	0	0	0	42	172
合計	5,388	445	565	1,595	0	318	216	6,270	14,797



Ⅲ

栃木県の子どもがかけた電話

2021年1月～12月

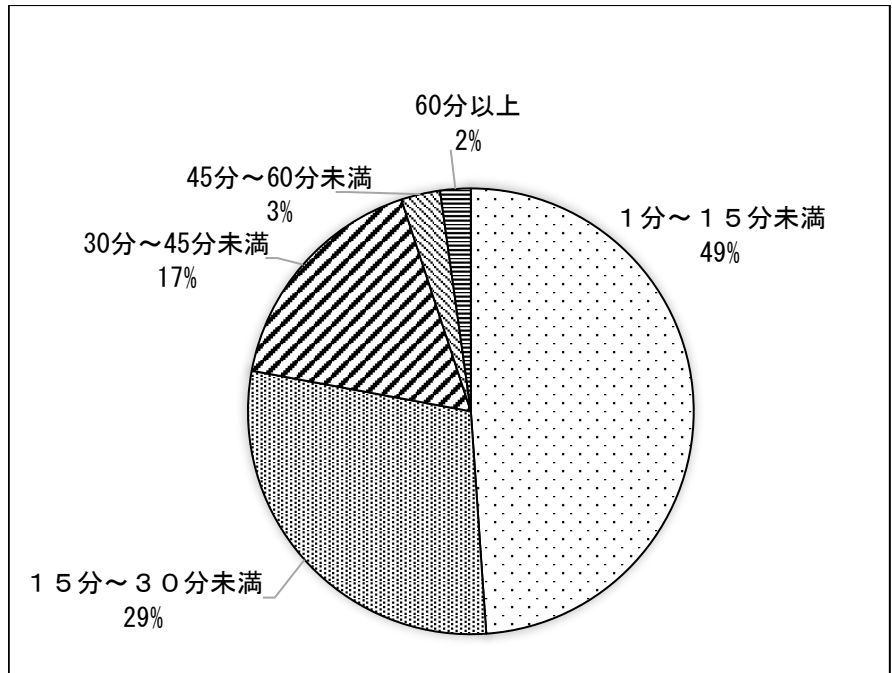
(他県の実施団体が受けた電話が含まれる)

1. 総着信件数 786件 (1ヵ月平均 65件)
 通話 317件 (1ヶ月平均 26件)
 総通話時間 111時間
 1ヶ月平均約9時間 平均通話時間 約19分

会話成立のうち約半数が15分以上の電話になっています。
 中には1時間を超える電話もあります。

着信内訳	件数
会話成立	317
不成立・無言	469
総着信	786

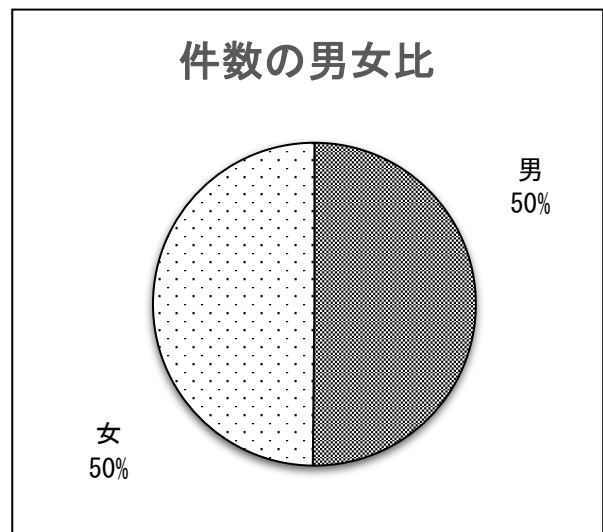
通話時間	件数
1分～15分未満	155
15分～30分未満	92
30分～45分未満	54
45分～60分未満	9
60分以上	7
合計	317

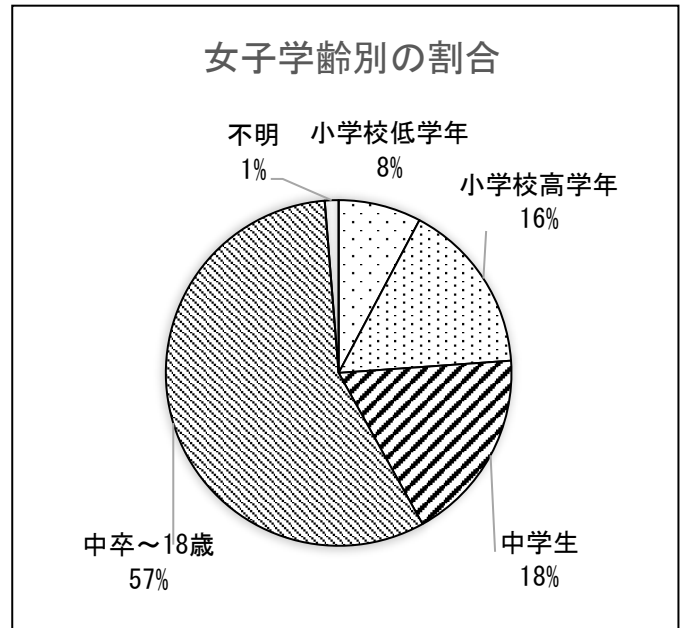
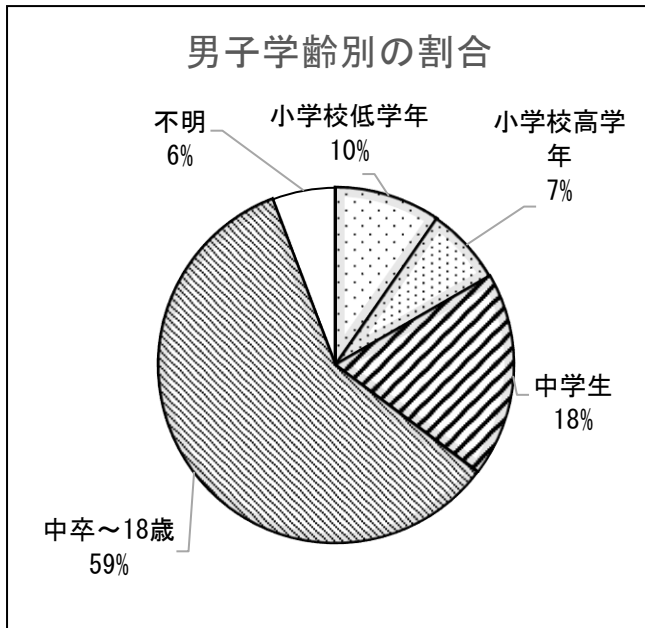


2. かけてきた子どもの学齢と男女比(栃木県の子ども)

1件あたりの通話時間は男子が約17分、女子が22分と女子のほうが長く話されています。
 かけてきた子どもの年齢では、男女ともに中学卒業～18歳の電話が多いようです。
 件数は男子と女子でほぼ同じです。

性別	通話件数	通話時間(分)	1件あたりの通話時間(分)
男	156	2,735	17
女	155	3,406	22
不明	6	64	10
合計	317	6,205	16

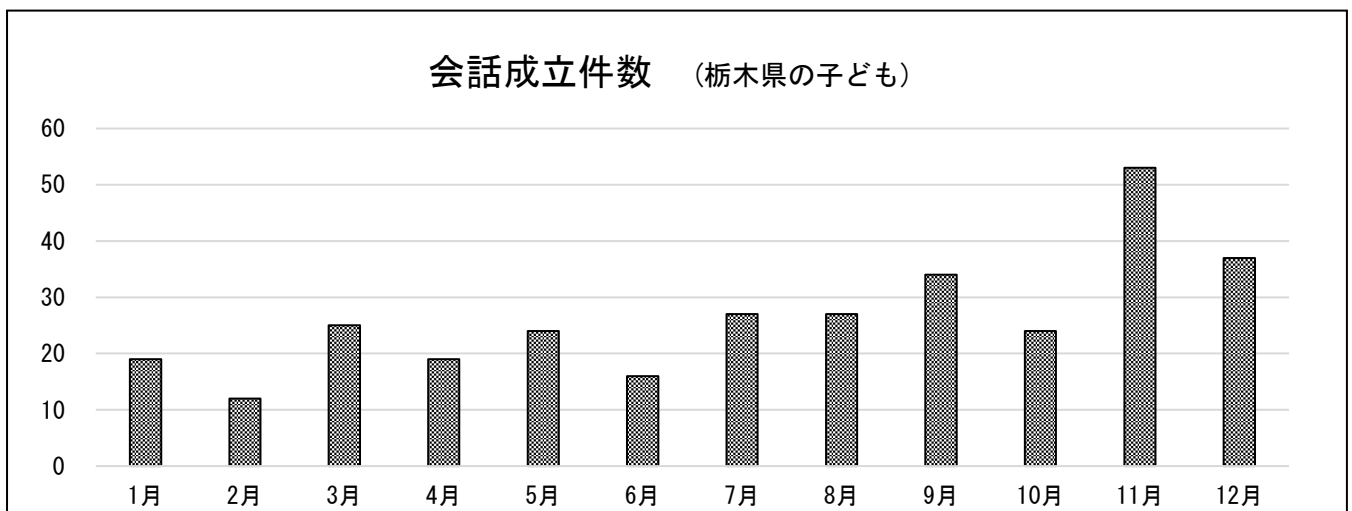




3. 月別件数と通話時間の推移

栃木県の子どもたちにフリーダイヤルの番号を知らせるカードの配布は、県内市町ごとにローテーションを組んでいます。年度切り替えの2月から5月は配布出来ていないので件数が少なくなります。11月はチャイルドライン全体で「虐待防止キャンペーン」を開催して広報されたために通話件数時間ともに多くなっていると考えられます。「自分」に関する内面の悩みが多かったようです。

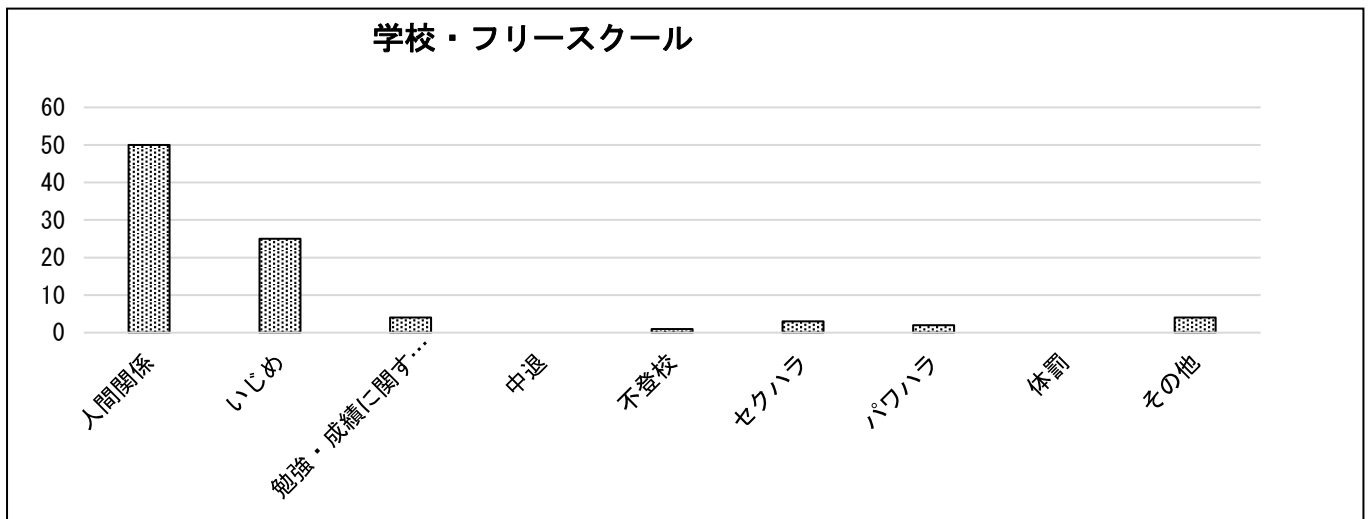
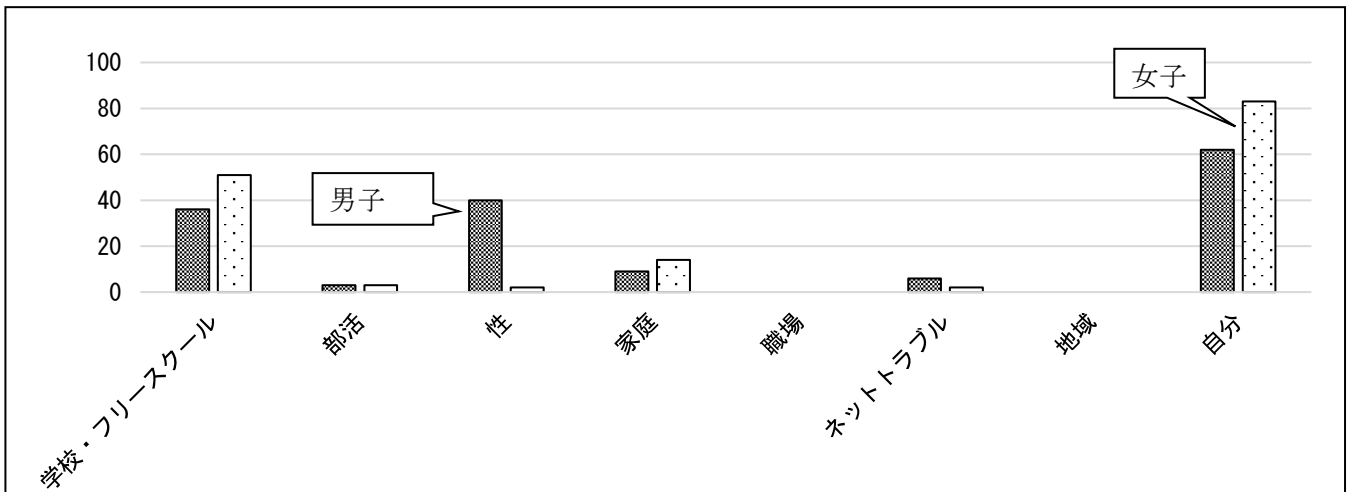
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
会話成立	19	12	25	19	24	16	27	27	34	24	53	37	317
無言不成立	34	32	36	23	30	53	41	33	30	56	52	49	469
総 着信	53	44	61	42	54	69	68	60	64	80	105	86	786
通話時間(分)	394	253	557	443	479	337	581	665	603	533	1,128	723	6,696

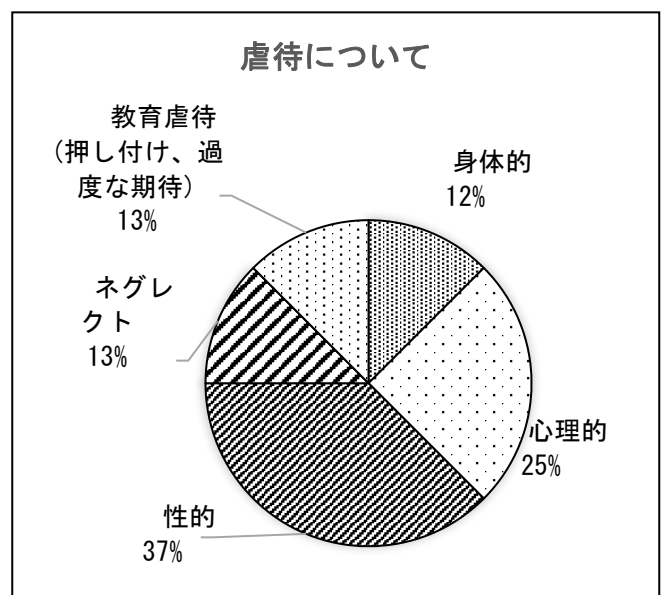
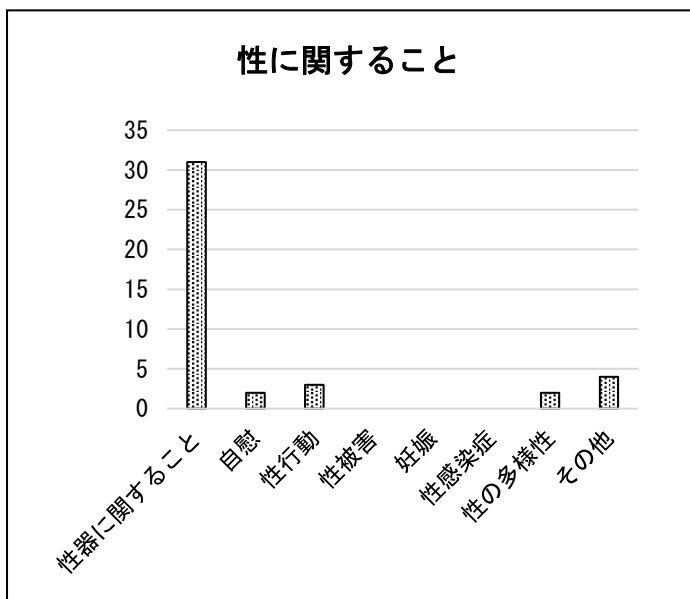
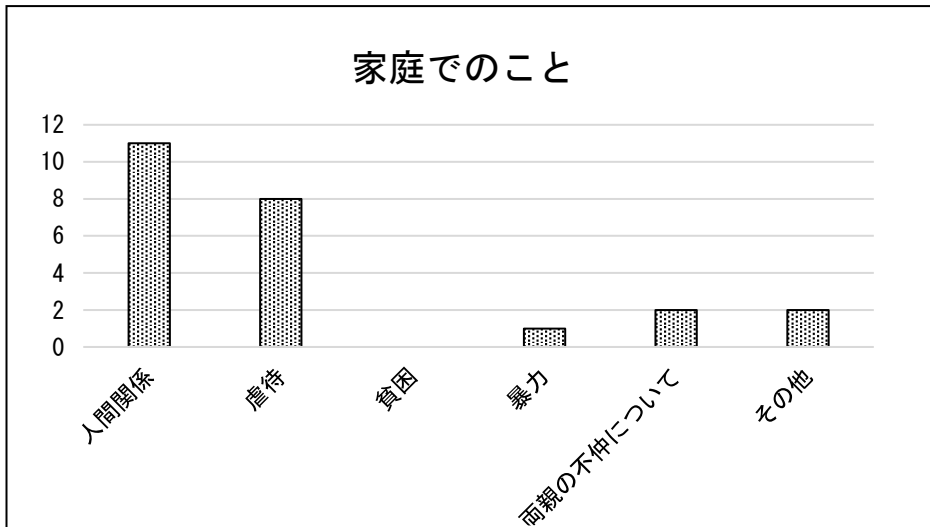


4.どんな内容の電話か(栃木県の子ども)

男女ともに「自分のこと」が多く話されており、次いで「学校でのこと」になっています。男子は「性に関すること」も多く話されています。学校・部活・家庭・ネットトラブルと場面は違っても話の内容は人間関係について多くなっています。

主訴 性別	学校 フリースクール	部活	性	家庭	職場	ネットトラブル	地域	自分	合計
男	36	3	40	9	0	6	0	62	156
女	51	3	2	14	0	2	0	83	155
不明	2	0	0	1	0	0	0	3	6
合計	89	6	42	24	0	8	0	148	317

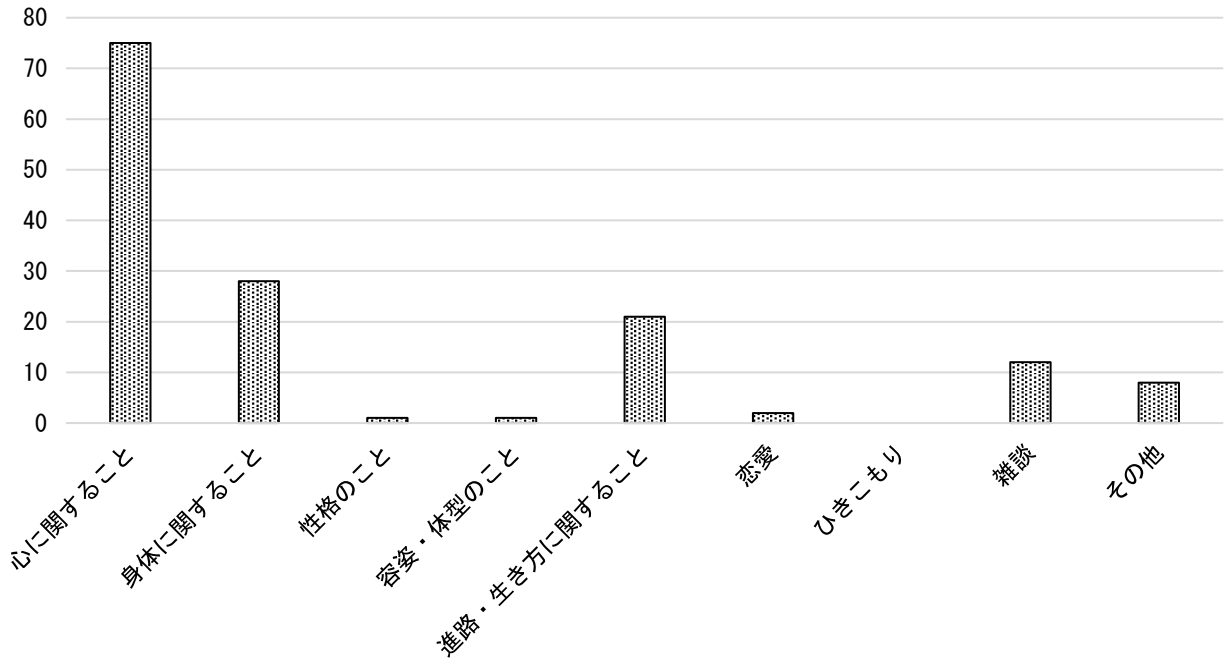




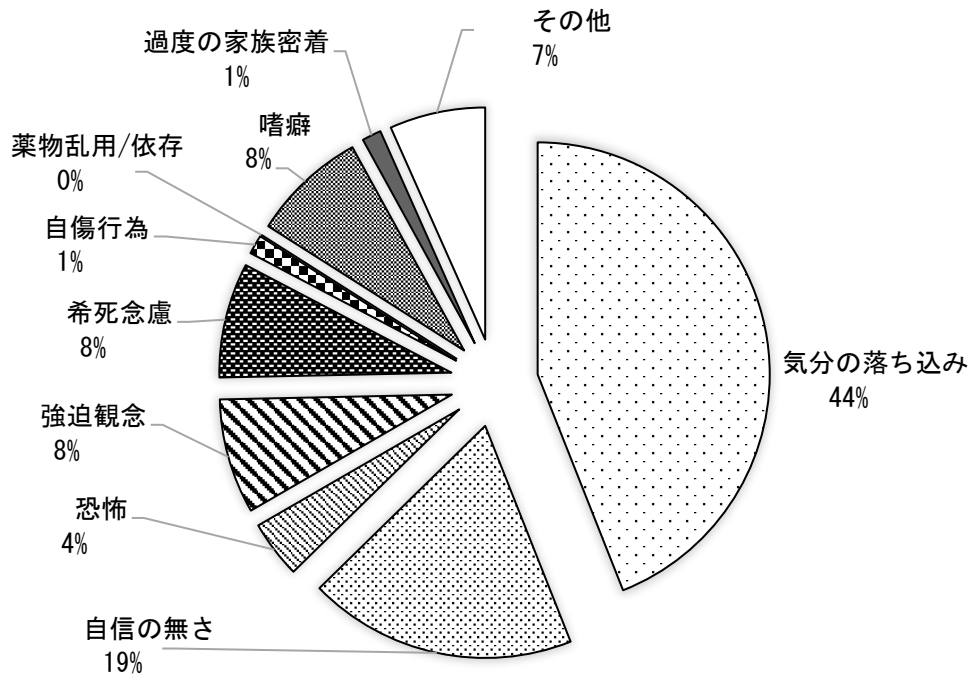
性に関しては女子と比較すると男子の相談件数が 20 倍と多くなっています。チャイルドラインとちぎが受けた全国の電話では「性行動」や「性の多様性」が多くなっていますが、栃木県の子どもたちの電話では特に「性器に関すること」が突出して多くなります。これは一定のリピーターや大人が妨害電話としてかけている可能性もあります。

虐待については、昨年度の集計では「身体的」「心理的」のみでしたが、「性的」「ネグレクト」「教育」などの相談もありました。件数は多くはありませんが、件数では測ることのできない重大な問題を含んでいると考えられます。

自分のこと



心に関すること



IV

子どもの声から

※プライバシーに配慮して内容は再構成しています。

メディアでは、毎日のように新型コロナウイルスの感染、そしてウクライナの戦火について報じられています。こうした社会状況のもとで子どもたちは何を考えているのでしょうか。チャイルドラインにも不安の声が届いています。

最近「性の違和感」について語る事がタブー視されなくなってきましたが、一人で悩み誰にも相談できないと思う子どもたちは多く、ネット検索の情報に惑わされることもあります。

自らを「発達障害」であるためにコミュニケーションが難しいと告白する子どもたちもいます。自己肯定感が持てずにいる子どもたちに、周りの理解が必要だと感じます。

「貧困やヤングケアラー」が社会問題となっていますが、家族の問題は表面化しにくく支援の手が届かないのだというもどかしさを感じます。

子どもたちは「SNS」を使いこなしているように見えて、基本的な安全教育が不足していると感じます。ネットを通して生まれた人間関係は危うく、安全の死角になることもあるのだと気づいてほしいと思います。

また一方で「受け手がやさしい気持ち」になる電話もあります。新入生の不安、日常の遊び、将来の希望や夢を語る姿に癒され心の中でエールを送らずにはられません。

コロナ禍の中で

- ・クラスにマスクをしない子がいる。うつりそうで心配。 小学高
- ・学校がオンライン授業ばかりで、学校行事もなくストレスがたまる。 高校
- ・ワクチンを打つかどうか決めかねている。何が正しいのか分からない。 高校
- ・親のワクチン接種が終わるまで学校に行かせてくれない。 小学高

社会的事件の影響

- ・自分の性格を自己分析すると狂暴なところがあると思う。殺人しそう怖い。 高校
- ・学校で友人とトラブル。しつこくてウザイ。相手を殺したいと思った。 高校
- ・昨日の事件はわくわくした。戦いの漫画や人の不幸をみるのが好き。 小学高
- ・毎日戦争のニュースを見て不安になる。そのうち自分たちも殺されるのではないか。 小高

性別の違和感を抱えて

- ・ネットで調べたら自分はクエスチョンズだと思う。 中学
- ・自分はLGBTなのかな。差別しちゃいけないと習っているということは差別される感じなのかな。高校
- ・同じ悩みの人と話してみたい。親にどう話したのか聞いてみたい。 高校
- ・自分の体が気持ち悪い。自分は他の人と違う。 小学高

家族に認めて欲しい

- ・一生懸命勉強をしたのに姉と比較される。自分のことを全然認めてくれない。 高校
- ・お父さんや母さんから叱られる。私なんかいないほうがいい。 小学高
- ・お父さんに失敗したら蹴られる、できが悪いとか言われる。 小学低

心の問題や障害を抱えて

- ・パニック障害があり、死にたいというより「生きていく方法がわからなくなった」。 高校
- ・母が亡くなり、悲しみが癒えない。うつ状態で死ぬエネルギーもない。 高校
- ・男の人からいたずらされたことがあって、自分がどうしてもよくなってしまった。 高校
- ・太るのが怖く過食嘔吐がある。スイッチが入ると食べるのを止められない。 高校

貧困とヤングケアラー

- ・母は知的障害がある。自分が妹の面倒をみて家事もしている。 中学
- ・昼間はガードマン、夜は定時制高校に通っている。働いたお金をパチンコで使われてしまう。 高校

誰にも話せないいじめ 学校のこと

- ・学校でいじられている。家族や友達の前では元気なふりをしている。 中学
- ・ずっといじめられてきた。嫌われたり暴力を振るわれたりしていた。頼れる人がいなかった。 中学
- ・自分はいじめっこだった。友達にいろいろしてきた。今になると怖い。 高校
- ・教室に入れなくて保健室登校している。どうしたら教室に入れるだろう。 小学高
- ・不登校になったけど、自分で解決したい。親は自分を信じて待ってほしい。 小学高

誰も助けてくれない

- ・お父さんが布団に入ってくる。お母さんは「誰にも言わないで」と言う。 中学
- ・小さい頃から両親がいつもケンカしていて、自分もまきこまれていた。 高校
- ・虐待のトラウマで夜中に夢を見て泣いてしまう。 中学
- ・将来自分が父のように暴力をふるってしまわないか不安。 高校

ネットでの拡散が心配

- ・SNSで性的な話をしてしまった。相手に話の内容を拡散されたらどうしようと心配。 高校
- ・カラオケアプリで知り合った人が好きになった。このままやり取りを続けていいのか。 高校
- ・アプリで性器を見せ合ってしまった。その時は楽しかったが急に不安になった。 小学高
- ・裸の写真を送ってほしいと言われたけど、相手が傷つかない断り方ありますか。 中学

妊娠の不安

- ・同級生の彼とセックスをしたが、避妊が上手にできたか、妊娠していないか不安。 高校
- ・妊娠検査薬で陽性が出た。保健の先生のところにも行ったが言い出せなかった。 高校
- ・彼氏から体を求められて困っている。好きだということと体は別だと思っている。 中学
- ・既婚者と性的関係をもって妊娠。不安で手が震えている。 中学

やさしい気持ちで聴きます

- ・学校に行くのが不安。お母さんと離れたくないと思ってしまう。 小学低
- ・鬼ごっこで自分が鬼になるとルールを変えてしまう子がいてイヤ。イヤだと言えない。 小学低
- ・内気で自分に自信がない。中学になったら自信がもてるように頑張りたい。 小学高

チャイルドラインとちぎのこれまで

2001年(平成13年)5月5日開設(毎週金曜日の15:00~23:00)

2007年(平成19年)5月から全回線フリーダイヤルになる。

2008年(平成20年)11月から全国統一フリーダイヤルで以後全国の子どもからの電話を受ける。

2010年(平成22年)チャイルドラインとちぎ設立10周年記念事業

2013年(平成25年)1月8日 認定NPO法人として認定(県文第236-1号)

2018年(平成30年)8月から月に1回木曜日にオンラインチャットで子どもの声を受ける

2019年(平成31年令和元年)5月から月に2回(第1・第2木曜日)にオンラインチャットを開設する。

2021年(令和3年)チャイルドラインとちぎ設立20周年記念誌を発行する。

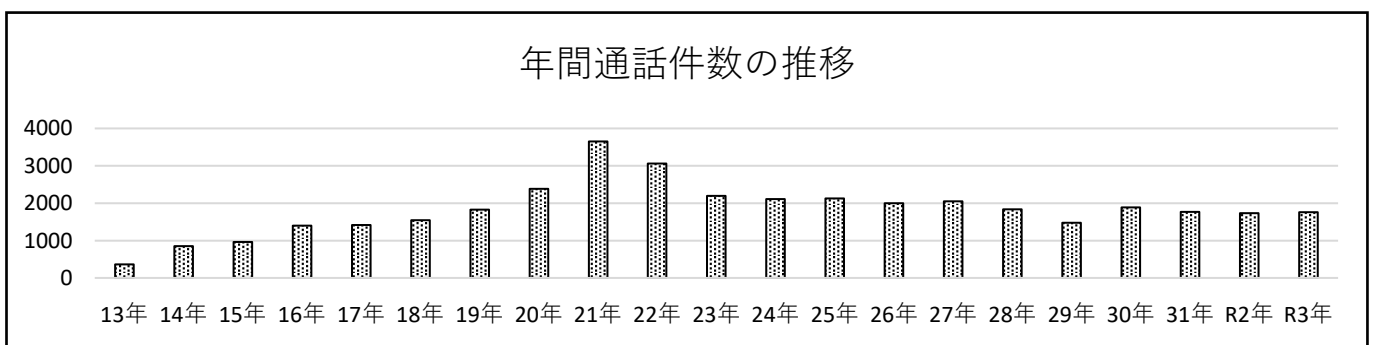
2022年(令和3年)1月からオンラインチャットを第2金曜日に開設する。

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
通話	362	851	958	1,396	1,413	1,544	1,828	2,387	3,655	3,059
無言・他	141	831	1,204	1,207	1,452	2,027	2,628	3,627	4,808	4,875
計	503	1,682	2,162	2,603	2,865	3,571	4,456	6,014	8,463	7934
通話時間	112	245	225	330	298	326	453	579	919	819

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	R2年
通話	2,194	2,113	2,130	1,997	2,049	1,834	1,480	1,886	1,771	1,732
無言・他	4,620	5,235	5,897	7,383	7,522	8,014	5,764	4,857	4,246	4,704
計	6,814	7,348	8,027	9,380	9,571	9,848	7,244	6,743	6,017	6,436
通話時間	709	660	728	616	635	778	421	600	584	607

	R3年
通話	1,764
無言・他	4,773
計	6,535
通話時間	576

チャット	R2	R3
件数	317	411
通信時間	194	247



2021年 チャイルドラインとちぎの活動から

① 会員数

〈正会員〉 55人

〈支援会員〉

個人 57人

団体 15団体

② 理事 15名 ・ ・ ・ ・ 理事長：1名 副理事長：2名 監事：3名

③ 2021年度決算

収入 2,662,231円

〈主な内訳〉

会費	165,000円	(6%)
支援会費(寄付)	1,110,100円	(42%)
補助金・助成金	1,072,127円	(40%)
事業収入	315,000円	(12%)
その他	4円	(0%)

支出 2,789,730円

〈主な内訳〉

事業費	2,528,173円	(91%)
子どもの声を聴く事業	1,564,728円	
啓発事業	963,445円	
管理費	261,557円	(9%)
※ 人件費	601,812円	(22%)



2022年チャイルドラインとちぎ年次報告

2022年5月発行

発行者 特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ

〒320-0837 栃木県宇都宮市弥生1-6-3

Tel.028-614-3253

E-mail info@cltochigi.org URL://cltochigi.org